

# 内視鏡的逆行性胆道膵管造影(ERCP)鎮静における麻酔薬の効果の後ろ向き検討

## 1. 研究の対象

2017年10月～2022年3月に当院で内視鏡的逆行性胆道膵管造影(ERCP)を麻酔科鎮静下にて受けられた方

## 2. 研究目的・方法

内視鏡検査室で行う検査の鎮静は主に主治医により行われていますが、当院では一部の内視鏡検査の鎮静を麻酔科医が担当しています。検査の侵襲や種類、また患者さんの年齢や体重で、鎮静で用いる薬剤の種類や量が異なり、それにより検査後の覚醒度や嘔気などの副作用も様々です。今回、麻酔科医が鎮静を担当する ERCP 検査で、麻酔薬によって患者さんにどのように影響するのかを後ろ向きに比較し、より安全に検査が施行されるように検討します。できる限り多くの患者さんのデータで比較するため、2017年10月から2022年3月までに当院で ERCP を麻酔科管理の鎮静下で行われた方を対象としています。研究期間は、臨床研究倫理委員会承認後から2022年3月までです。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者さんの性別・年齢・身長・体重・検査中に使用した麻酔薬の種類と量・検査終了後の覚醒度

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

〒534-0021

大阪市都島区都島本通2-13-22

電話 06-6929-1221 (代表)

麻酔科 池田慈子